

クリーンルーム対応のモーションプラスチック製品の開発を促進

イグス独自のクリーンルームラボ

イグス（本社ドイツ）は、クリーンルームでの使用に適したモーションプラスチック製品の開発を促進するため、フラウンホーファーIPA（生産技術・オートメーション研究所）の協力のもとISOクラス1準拠のクリーンルームシステムを備えたイグス独自のクリーンルームラボを設置しました。粉塵対策の最高レベル基準を満たさなければならない半導体製造向けのエナジーチェーンやチェーンフレックス 可動ケーブルなどを実条件下で試験することが可能で、新製品の開発期間短縮につながります。

マイクロエレクトロニクスは、ネットワーク形成や AI、エレクトロモビリティ、5G の利用拡大において最も重要なテクノロジーのひとつです。そのため、研究開発や製造能力を拡大する半導体・ディスプレイメーカーが増えています。わずかな粉塵でも集積回路を破壊する可能性があるため、QLED やマイクロチップの開発や製造はクリーンルームで行われます。そこで、クリーンルームでの使用が認定された耐摩耗性部品が求められます。

イグスは 2001 年以來、クリーンルーム向けのエネルギー供給システムとして耐摩耗性の高性能ポリマー製 e スキンや E6 シリーズを開発してきました。これらはクリーンルームでの使用向けに特別に設計され、フラウンホーファーTESTED DEVICE® の認定を受けています。半導体産業の著しい成長は、イグスのモーションプラスチック製品の可能性を広げる良い機会です。イグスは今年の新提案で 4 種類のクリーンルーム対応製品を発表しました。そして、この度フラウンホーファーIPA の協力のもと設置した新しいクリーンルームラボにより、イグスのクリーンルーム向け開発事業が一段と加速します。この新しいラボは、ケルンのイグス本社試験施設の一角に設置され、エナジーチェーン、チェーンフレックス 可動ケーブル、ドライリン リニアガイド、イグリデュールすべり軸受、ロボット用ギアボックス等、イグス全製品の開発ために使用されます。



プレスリリース

2020年5月20日

ISO 14644-14 に準拠したクリーンルーム向け試験

新しく設置したラボにより、イグスは今後 ISO14644-14 に準拠した清浄度クラス 1 までのクリーンルームに適した試験が可能になりました。実条件下での試験により製品の改善を短期間で実現できるだけでなく、お客様の仕様に合わせた個別試験も実施できます。クリーンルームラボには層流ブースが 2 台設置されていて、大きな製品の場合は 2 台のブースを結合して試験を行えます。



新提案 2020 で発表したクリーンルーム対応製品

e スキン フラット single pods

<https://www.igus.co.jp/info/e-skin-flat-single-pods>

e スキン ソフト SK20 シリーズ

<https://www.igus.co.jp/info/e-skin-soft>

以上

イグス株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 15 階

Tel: 03 (5819) 2030 (代表)

<https://www.igus.co.jp>

<製品についてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2500

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: helpdesk@igus.co.jp

<プレスリリースについてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2057

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: aokumura@igus.net

"igus", "energy chain systems", "energy chain", "e-chain systems", "chainflex", "iglidur", "igubal", "drylin", "readychain", "triflex", "roboink", "easy chain", "motion plastics"は、igus GmbHの登録商標です。"dry-tech", "ジッパー", "isense", "smart cable chainflex"は、イグス株式会社の登録商標です。